

科目名		建築実習 I			
担当教員		目黒 敬也		実務授業の有無	有
対象学科		建築大工科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	実習	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築大工の技術者として基本となる道具の知識・使用法、管理を学び大工技能検定の2級の課題を中心とした実習を行っていく。 技能検定の課題の説明→制作→評価・添削→修正 1. 2.道具の手入れ 3.技能検定の模擬試験			
学習目標 (到達目標)		大工技能検定の資格取得を目指す。また、大工に必要な道具の使い方や手入れの方法も技能試験の練習を通して習得していく。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		配布資料			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	木材のくせ取り ①検定課題にある材料のくせ取りを練習する			方法：加工手順・方法を説明し、内容を理解し、①の項目を早く正確に加工できる。 準備学習：道具の手入れ	
2	インパクトドリルを使用したほぞ穴の掘り方 ①技能検定で使用する電動工具を使ってほぞ穴をあける練習をする			方法：道具の使い方を説明し、道具の使い方を理解し、①の項目を加工できる。 準備学習：インパクトドリルの使い方の予習	
3	大工技能検定2級の課題の寸法の習得 ①検定課題の各部材の寸法を覚える			方法：プリントを使い説明し、課題の内容を理解し、①の項目を覚える。 準備学習：技能検定2級の課題の寸法を覚える	
4	大工技能検定2級の課題の墨付けの習得 ①検定課題の各部材の墨付けの手順を覚える			方法：墨付けの順番を説明し、墨付けの手順を理解し、①の項目ができる。 準備学習：各部材の寸法を覚えている	
5	大工技能検定2級の課題の加工の習得 ①検定課題の各部材の加工方法、手順を覚える			方法：加工の順番、方法を説明し、加工方法を理解し、①の項目ができる。 準備学習：道具の手入れ	
6	大工技能検定2級の課題の組立の習得 ①検定課題の組立方法、手順を覚える			方法：組立の順番、方法を説明し、組立手順を理解し、①の項目ができる。 準備学習：課題の原寸図、寸法の暗記	
7	大工技能検定2級の模擬試験			方法：検定試験と同じ制限時間で原寸図から通して課題を制作する。 準備学習：1～6の習得	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題	取組姿勢			繰り返し課題を制作していきながら墨付け手順や加工手順を覚え、大工技能検定2級を確実に取得できるように練習していく。また、木材加工をするうえで重要な道具の手入れも実習を通して習得していく。	
70 %	30 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築大工として約5年実務に携わる			